

3. Char Wapda塩害沿岸村落への雨水貯留による飲料水供給支援(バングラデシュ)

- 実施団体: Footsteps Community Development Foundation (#029)
- 実施地: バングラデシュ国チッタゴン管区ノアカリ県スバルナチャール郡チャールワプダ・ユニオン
- プロジェクト予算: 2,650ドル (JWFファンド1,500ドル、他支援400ドル、団体500ドル、受益者250ドル)
- 受益者数: 700人 (男性210人、女性260人、子ども230人)
- 実施地の水問題:
バングラデシュ南部のワプダチャール・ユニオン(行政単位、数個の村)は高潮や潮汐洪水、河岸侵食、塩水の浸入により淡水不足である。継続的なかんがい用水汲み上げにより地下水の利用可能性が減少して貧困層は日常生活用水を近くの池や購入水に頼っている。雨水貯留システムを導入して、貧困層の支援としたい。



地下水位が低下して、井戸水の供給は不安定となった



大規模な耕作により、かんがい用水需要は増すばかり



各家庭は飲用水を入手する為に、遠く離れた水源まで水汲みに行く

- 主な活動内容: 共同体向けに2,000ℓ雨水貯留システムRWHS2基の設置、水管理委員会の結成、地域向け衛生啓発集会3回と学校向け1回、維持管理研修など。
- 特長(持続性): 当プロジェクトは地元共同体の主体的な管理によって持続される。水管理委員会は管理人2人を雇い、日常業務を行う。日常資材の交換、簡単な修理は現地で可能できるように、費用負担体制を整える。
- 実施団体: 2013年に設立された地域開発団体。脆弱な共同体が地域の課題を克服できるように、支援してきた。バングラデシュ全土で、WASH(上下水・衛生)、公衆衛生、気候変動対策、防災・災害復旧、環境保護および生計向上の分野で活動している。